



第26回地域療育講習会

医療福祉相談室 神田 恵子

3月1日(金)、多摩総合医療センター「フォレスト」にて、第26回地域療育講習会が開催されました。

この講習会は、当センターで培われてきた療育経験から得られた知見や提案を、地域で重症心身障害児(者)の療育に携わっている多くの方々に役立てていただきたいという趣旨で、平成18年から実施しています。

今回のテーマは、「重症心身障害児・者の感染防止対策～持ち込まない・拡げないための取り組み～」とし、古島小児科医師から「ウイルス感染症への取り組み」、深野薬剤科長から「薬剤耐性菌への取り組み～抗菌薬適正使用～」、小出小児科医師から「院内・外での薬剤耐性菌情報の共有」、工藤感染管理認定看護師から「持ち込まない・拡げない感染防止対策～日常ケアにおける取り組み～」の講義がなされました。



感染症対策についてのテーマは、平成26年2月に行われた第16回地域療育講習会以来、今回で2回目となります。

今冬もインフルエンザが大流行し、毎年この時期には関心の高いテーマとなります。今年も福祉施設や学校、保健所などの医師、看護師、保健師、生活支援員、教諭等、様々な分野の方にご参加いただき、合計で85名の参加がありました。

講習会終了後のアンケートでは、「わかりやすく参考になった」との意見が大多数を占めました。また、「おむつ交換の実施方法や、洗身ストレッチャーの洗浄なども、とても参考になりました」「来院者用の健康確認票はとても大切なことだと思いました」「環境を見直し、清潔区域を作り、ボトルをかけている写真は参考になりました」などの感想もいただきました。

次回の地域療育講習会への参加も、お待ちしております。



卒業式・修了式～くぬぎ分教室～



くぬぎ分教室 荒川 徹

3月19日(火)、都立府中けやきの森学園で行われた小学部・中学部の卒業証書授与式に、くぬぎ分教室の小学部6年生1名と中学部3年生1名が参加しました。来賓として大島院長先生に御参りいただき、医師や看護師の方々にも同行していただきました。分教室の児童・生徒はなかなか経験できない広い体育館で、式に参加した大勢の人々の中央を歩いて大きな拍手を浴びながら座席に向かいました。卒業証書授与では、ステージの上で眩しいくらいの照明を浴びて呼名され、校長先生から卒業証書を手渡してもらいました。前籍校で1回経験している中学部の生徒も、とても緊張の面持ちでカチカチになっていましたが、最後まで頑張りました。卒業式終了後は校庭に出て、うららかな薄日の差す中、桜色の花の下で皆さんと写真を撮影してきました。帰りのバスでは、やっと緊張から解き放たれたようで安堵の表情が見られました。

一方、3月25日には、府中療育センター大会議室にて小学部児童1名で修了式を行いました。一人だけの少し寂しい修了式となりましたが、校長先生の心温まるお話や担任のスライドによるわかりやすい説明で、本人が頑張ったことを、出席してくださった皆さんに御紹介することができました。

今年度も、さまざまな行事はもちろんのこと、日ごろからくぬぎ分教室の教育活動に深い御理解と多大な御協力をいただき、本当にありがとうございました。分教室一同心から感謝申し上げます。



～卒業式～



～修了式～

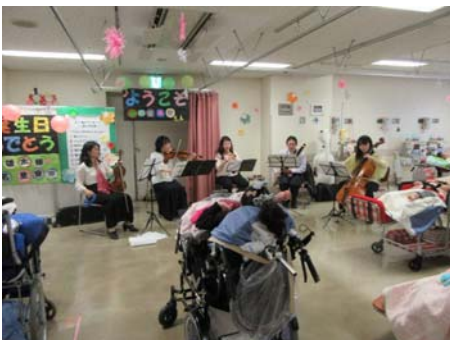


誕生会と森の音楽家の演奏会



3-1病棟 保育士

3月の誕生会は、3月7日(木)に「森の音楽家」さんを招いてアンサンブル演奏会を開催しました。ヴァイオリンやヴィオラといった5台の管弦楽器で8曲が演奏されました。ヘンデルの『ハレルヤ』やシューベルトの『野ばら』、シュトラウスの『春の声』などの名曲が続き、まるでウイーン楽友協会大ホールでニューイヤーコンサートに参加しているようでした！コンサートマスターによる曲の解説は素敵でとても感動しました。その後、「ワン！ツー！スリー！」の掛け声でJ-POPメドレーが始まりました。利用者の皆さんは思い思いに鈴やタンバリンを自由に鳴らして賑やかな雰囲気になりました。演奏者の方との距離も近く言葉では言い表せない、かけがえのない時間を過ごすことができました。



春のコンサート

4-2病棟 石橋 まり菜

4-2病棟では、3月12日（火）に春のコンサートを開催いたしました。当日は、宮野下シリウさんによるマリンバの演奏に加え、3月の誕生者に向けバースデイソングを歌いました。コンサートが始まり、病棟はマリンバのダイナミックかつやさしい演奏に包まれました。利用者は、笑顔で聴き入り、テンポの早い曲になると手に持ったマラカスを振ったり、元気よくタンバリンを鳴らしたりと思い思いに音楽を楽しんでいました。大好きな『アンパンマンマーチ』の演奏になると、嬉しそうに手足を動かしたり声を出したりと喜ぶ利用者もいました。拍手喝采でむかえたアンコール曲『熊蜂の飛行』では、職員もノリノリで楽器を鳴らし、素早く手を動かしてマリンバを奏でるパフォーマンスに歓声が上がりました。春のコンサートを楽しみに来られたご家族や他病棟からの参加者も多く、今年度最後の行事は大盛り上がりとなりました。



平成30年度東京都立府中療育センター院長賞表彰

平成31年3月18日（月）、大会議室において、平成30年度の功績をたたえ院長から受賞者に対して、表彰状が授与されました。授賞者及び団体は、下記のとおりとなります。

受賞者(団体)及び取組内容

- 開設50周年企画運営チーム(指導科職員など14名)
「開設50周年の企画・運営」
- 新センター開設準備チーム(事務室職員12名)
「新センター開設準備に向けた取り組み」
- 薬剤科 職員(1名)
「経済的な医薬品管理」



センター職員が福祉保健局長賞を受賞しました！

看護科長 釜 英介

平成31年2月7日(木)、東京都庁第一本庁舎会議室にて、平成30年度福祉保健局長賞贈呈式が開催され、当センター看護師1名が受賞しました。

今回受賞した荒畑看護師長は、都立病院における勤務実績や海外への研修などの様々な経験を経て、府中療育センターにおいて、通算18年に渡り療育活動を実践してきました。その中で、利用者本位のサービスを誰よりも理解し実践するとともに、後輩看護師への指導についても尽力しました。そのほかにも、医師やリハビリスタッフらとの連携が適切に行えるように多職種カンファレンスを取り入れたことや、中央材料滅菌室業務において各病棟の衛生材料の在庫管理の見直しを行い、不良在庫を一掃して適正在庫に導いたことなど、様々な場面で活躍した功績が認められ、今回の受賞となりました。

今後とも看護科職員一同力を合わせて、利用者本位の質の高い療育を提供できるよう尽力していきます。



福祉保健局長賞は、職務に関連した有益な研究や発明、抜群の努力による顕著な成績、多年にわたる職務の精励等、その業績が他の職員の模範と認められた際に与えられるものです。

退職者を送る会

事務室 田中 稔浩

3月9日(金) パレスホテル立川において、退職者を送る会が開催されました。退職者7名を含め、各科・病棟から全体で100名近くの職員の参加がありました。

当日は、多くの科から歌やダンスなどの企画が出され、会場は笑いあり感動ありで、大変盛り上がりました。

今年度退職を迎えられる皆さま、長い間東京都に多大なる貢献をいただき本当にありがとうございました。今後ますます活躍されることを祈念いたします。そして引き続き当センターを応援してください。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>